



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

水産事業の地域内連携と地域資源のブランド化

鈴木 良太

(

すずき りょうた

)

宮古チーム漁火 会長



○ 登録者情報

所在地

岩手県宮古市

略歴

2005年 共和水産株式会社 入社
2011年 東日本大震災によって原料、製品を流出
共和水産株式会社 代表取締役専務に就任、「イカ王子」と名乗り、活動・発信を開始
2012年6月 「宮古チーム漁火」結成、代表に就任
2014年6月 台湾で商談成立、海外販路開拓
2015年2月 「被災地の元気企業40」復興大臣顕彰状 授与
2018年1月 宮古市の真鱈をPRするため、「冬の産直 & 真鱈まつり」を立ち上げ、実行委員長を務める
2018年6月 アメリカ輸出開始
2017年度～ 岩手大学農学部水産コース 非常勤講師
2018年度 岩手大学起業家人材育成講座 いわてキボウスター開拓塾講師

○ 水産事業の地域内連携と地域資源のブランド化

取組の内容

東日本大震災後の2012年6月に、岩手県宮古市内の水産加工を営む若手経営者4名で「宮古チーム漁火」を結成し、企業間の垣根を越えた連携ビジネスモデルを構築しました。チーム構成メンバーのそれぞれの強みを活かして、多彩なニーズに対応、売り上げを伸ばし、水産事業の活性化に尽力しています。海外販路開拓にも取り組み、地域内の他企業のモデルとなっています。

また、自らを「イカ王子」と名乗り、2015年からイカ王子ブランドの商品を販売。仮想国「三陸王国イカ王子」プロジェクトを立ち上げ、インターネットやテレビ放映等を通じて知名度を上げて、宮古市の水産物のブランド化を推進しています。

他にも、6年連続で水揚量が全国1位となった宮古市の真鱈を地域資源として掘り起こし、PRするため、2018年に宮古市魚市場にて「冬の産直 & 真鱈まつり」を立ち上げ、実行委員長を務めるほか、港のにぎわいづくりの活動に取り組んでいます。

実績

・海外販路開拓
宮古チーム漁火として、2014年度から海外販路開拓に取り組み、現在ではアメリカ、オーストラリアにも水産加工品を輸出しています。
・地域資源のブランド化
共和水産株式会社として販売した、宮古の真鱈を使った「王子のぜいたく至福のタラフライ」がヒット商品となり、全国から注文を頂いています。

工夫した点や苦労した点

通常は同業者との連携が行われにくい水産加工業において、チーム内で製造ノウハウ、開発、仕入れ、販売ルート、取引先や経営ノウハウを共有する、企業間の垣根を越えた連携ビジネスモデルを構築しました。地域内連携で仕事を回すことや、水産業のイメージアップに積極的に取り組むことで、担い手不足の課題にも対応しました。

ひとことPR

水産業はもちろん、異業種を交えながらWIN-WINの関係性を築くとともに、観光の視点も踏まえ、食を通して地域と人をつなげていく活動をしています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

共和水産株式会社	http://www.kyowa-suisan.co.jp/
三陸王国イカ王子	https://www.ikaoji.jp

連絡先

メールアドレス	suzuki.r [アットマーク] kyowa-suisan.co.jp	その他	
---------	--------------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。